

平成27年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	日本人の海外留学促進事業			担当部局庁	高等教育局		作成責任者	
事業開始年度	平成26年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	学生・留学生課留学生交流室		学生・留学生課長 渡辺 正実	
会計区分	一般会計			政策・施策名	政策目標13：豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進 施策目標13-1：国際交流の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定) 「第2期教育振興基本計画」(平成25年6月14日閣議決定)			
主要政策・施策	子ども・若者育成支援			主要経費	文教及び科学振興			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)を踏まえ、意欲と能力のある若者全員への留学機会の付与を実現し、2020年までに日本人留学生を6万人(2010年)から12万人へ倍増させるとともに、「第2期教育振興基本計画」(平成25年6月14日閣議決定)において指摘されている、留学情報の収集・提供等の強化及び留学への機運を醸成する取組の充実を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	事業の目的を達成するため、以下の取組を実施する。 ○大学、企業等と連携した留学情報の収集及び提供の実施 ○日本人学生、若手社会人及び外国人留学生在が交流する機会の提供 等 事業の実施にあたっては公募等により、民間等に委託。							
実施方法	委託・請負							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	0	0	80	80	80	
	執行額	-	-	-	80	-	-	
執行率 (%)	-	-	-	100%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 32年度	
	2020年までに日本人留学生を6万人(2010年)から12万人へ倍増させる(各年度の目標値は前年度実績を上回る値とする)	大学等が把握している日本人学生の海外留学状況 ※26年度実績は調査中(28年2月に公表予定)	成果実績	人	-	-	-	-
			目標値	人	-	-	69,870	120,000
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	官民協働海外留学支援制度の応募学生数	活動実績	人	-	-	2,484	-	
		当初見込み	人	-	-	-	2,485	
単位当たりコスト	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	執行額/応募学生数	単位当たりコスト	千円	-	-	138	138	
		計算式	千円/回	-	-	80,000/2,484	80,000/2,484	
算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	留学促進事業委託費	80	80					
	計	80	80					

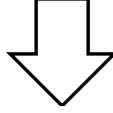
事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	・「日本再興戦略」及び「第2期教育振興基本計画」には2020年までに日本人の海外留学生を12万人にすることとされており、国民のニーズも高く国費を投入して行う必要がある事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	・本事業はオールジャパンで学生等の海外留学の機運を醸成することを目的としており、国が主体となって実施する必要がある。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	・「日本再興戦略」及び「第2期教育振興基本計画」には2020年までに日本人の海外留学生を12万人にすることとされており、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	・支出先の選定に当たっては、十分な広告期間を確保した上で企画競争を実施しており、その妥当性及び競争性を確保している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	・国が主体となって実施すべき事業であるため、委託契約により国が負担することが妥当なものである	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	・費目・使途は事業実施のための委託費であり、公募要項等で使途の詳細を定めた上で、十分な広告期間を確保し企画競争を実施することで企画内容の妥当性を確保し、加えて定例的に委託先と企画会議を行い、事業計画の不断の改善に取り組むことで最大限の効果を確保するよう図られており、水準は妥当と考えられる。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	・委託費の契約時及び額の確定時においては、事業経費の費目・使途の使用見込及び支出内容を厳正に審査することで、その必要性について適切にチェックを行うこととしている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	・定例の企画会議を委託先との間で行うことで、効率的な事業運営やコストの削減を常に図っている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	・事業実施に当たっては、限られた予算の範囲内で、より有効な手段・方法により事業が実施できるよう、企画競争を行って契約先を選定することとしている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	本事業は、限られた予算の範囲内で、いかに効果的に海外留学への機運を醸成できるかが課題であり、事業を運用するうえでより効率性等を確保するための方策について、引き続き検討を行っていく必要がある。			
	改善の方向性	予算の範囲内で最大の効果が得られるような提案になっているか、委託先の選定時により入念に審査するほか、事業が効果的・効率的に運営されるように引き続き委託先と密接に連携をとり、事業の状況について常に把握・検討することとする。			
外部有識者の所見					
留学生数12万人という目標及びアウトカムに掲げられた留学生数の達成に対し、本事業がどの程度の役割を負うものなのか丁寧かつ確かな説明が必要。本事業による留学生増加数を目標とできないか工夫が必要。					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の一部改善	<p>1. 事業評価の観点: 本事業は、意欲と能力のある若者全員への留学機会の付与を実現し、2020年までに日本人留学生を6万人(2010年)から12万人へ倍増させるとともに、留学情報の収集・提供等の強化及び留学への機運を醸成する取組の充実を図ることを目的としており、事業評価に当たっては事業成果等の観点から評価を行った。</p> <p>2. 所見: オールジャパンで学生等の海外留学の機運を醸成することが目的であることから、国の事業としての必要性は認められる。なお、海外留学への機運の醸成を効果的・効率的に図るための方策について、不断に検討を行うべきである。また、外部有識者の所見を踏まえて、事業の成果をより適切に測定するための指標の設定やその把握方法について工夫すべきである。</p>				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
執行等改善	海外留学への機運の醸成を効果的・効率的に図るための方策について、不断に検討を行う。また、事業の成果をより適切に測定するための指標の設定やその把握方法について検討する。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	新26-0044		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

文部科学省
80百万円

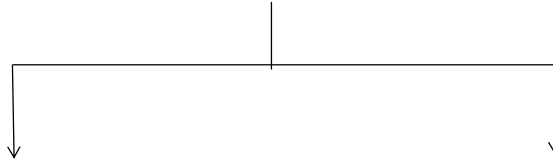
【本事業の選定委員会の審査・評価結果に基づき、委託先を決定するとともに、委託先に対して委託費を交付する。】



【企画競争・委託】

A.
株式会社博報堂(1機関)
82百万円

※自己調達費を含む
【留学情報の収集・提供及び日本人学生、若手社会人、外国人留学生の交流イベントの実施等】



【随意契約・再委】

B.
株式会社博報堂プロダクツ
2百万円

【事業に係るウェブサイト作成等】

【随意契約・再委】

C.
株式会社パズル
2百万円

【事業に係るウェブサイト作成等】

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかにつ
いて補足する)
(単位:百万
円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目と
 使途の双方で実
 情が分かるよう
 に記載)

A.株式会社博報堂			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業活動費	印刷、発送費	29			
事業活動費	ウェブサイトの制作	15			
事業活動費	グラフィック制作	13			
事業活動費	動画制作費	7			
事業活動費	ノベルティ制作	3			
事業活動費	その他	5			
人件費	事務担当者人件費	7			
再委託費	ウェブサイトの制作等	3			
計		82	計		0
B.株式会社博報堂プロダクツ			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業活動費	ウェブサイト制作等	1.7			
計		1.7	計		0
C.株式会社パズル			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業活動費	ウェブサイト制作等	1.1			
人件費	ウェブサイト制作に係る人件費	0.5			
計		1.6	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト

A

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社博報堂	日本人の海外留学促進事業	80	企画競争	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社博報堂プロダクツ	日本人の海外留学促進事業	2	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社パズル	日本人の海外留学促進事業	2	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					